

と～かんニュース

令和3年5月25日 発行

126号

★安全・安心のまちづくりを考える★

～行政は災害時の避難情報は空振りでも早く出す～

警戒レベル3以上の“避難情報”が変わりました

政

府はこれまでの避難行動について、五段階の警戒レベルを一部修正し、特に高齢者や障がい者の避難時期について“早めの避難”を促しています。

警戒レベル1（災害発生への心構え）

災害発生の危険度は低い段階ですが、気象庁から「警戒レベル1」が発表された場合、災害への心構えをしてください。

警戒レベル2（避難行動を確認する）

気象庁から“大雨注意報”や“洪水注意報”が発表された場合で、ハザードマップで災害危険地域の人たちは、避難行動に備え避難先までの経路の確認や携行品等の準備をしてください。

警戒レベル3（高齢者・要介護者の避難）

今までの“避難準備・高齢者等の避難開始”が、“高齢者等避難”変わりました。避難に時間がかかる高齢者や障がいのある人は、この段階で避難しましょう。

災害危険地域の人も避難をしてください。

警戒レベル4（対象地域の住民は全員避難）

災害が発生する恐れが極めて高い状況です。

今までの“避難勧告”は廃止され“避難指示”となりました。“避難指示”が発令された段階で、危険な場所から、全員避難をしましょう。

地域の指定避難場所への避難行動は、かえって命に危険を及ぼす場合もありますので、近隣の安全な場所へ避難するか、建物内のより安全な部屋に緊急避難してください。

警戒レベル5（命を守る最善の行動）

この避難情報は“災害発生情報”から“緊急安全確保”となりました。

すでに災害が発生している状況で、安全な非難ができず命が危険な状況です。

市区町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から必ず発令される情報ではありません。警戒レベル4の発令があったら、警戒レベル5の発令を待たず、自分や家族の命を守る最善の行動をしてください。



【早めの避難行動をしましょう】

災害が迫っているとき、行政の避難情報は「空振りを恐れず早めに出す」ことになっています。周囲の状況が危険状態でなくても、早めの避難を心がけましょう

★今年は3週間も早く梅雨入りで長雨か？

3密回避の避難所を考える

災

害クラスといわれる“新型コロナ”がまん延している中で、今年は例年より3週間も早く梅雨入りし、長雨が続くと気象庁は警戒情報を出しています。

長引くコロナ禍と土砂災害が同時に襲ってくる危険性がある中で、万一の際の避難方法を考えておきましょう。

★ どこに避難をしますか ★

その1 (一時避難所)

一時避難所は地域で指定した一時的な避難場所です。東観音台の集会所や老人憩の家、五日市高校、ジョイフルファミリー観音台（町内会が施設と契約した場所）等があります。ここでは長期の避難生活はできません。

その2 (生活避難場所)

この地域の生活避難場所は五日市高校と観音西小学校です。ここでは一定期間の避難生活ができます。

その3 (臨時の避難場所)

警戒レベル5で、急いで避難しなければいけない時などでは、マイカーの車内避難や近隣の安全な建物等への避難方法があります。

こうした避難先は、あくまでも仮の避難方法なので行政の支援はありません。

★3密を回避した避難所の運営★

生活避難場所（五日市高校、観音西小学校）では、基本的に行政が受け入れ態勢を整えています。

ここでは食料、飲料水、敷物、毛布等、最小限度の生活支援が行われます。

安佐北区の例では、メーカーの協力で「3密回避の避難所運営」について、区画を世帯単位で過ごすように段ボールで囲み、ペットも一緒に避難生活をする実験をしています。



避難弱者の対策を考える

政

府は、災害時に「避難の手助けが必要な住民」に対する“避難行動要支援者名簿の作成”することになっています。

（作成は地方自治体）

主な対象としては身体障がい者と要介護者で、必要な場合、地域の自主防災会や民生委員に情報提供され、災害時の避難支援や安否確認に活用されることになっています。

横断歩道で一時停止しましょう

信

号機のない横断歩道を、歩行者が渡ろうとしている時、あなたは一時停止していますか？

日本自動車連盟（JAF）の調査（2020年）で、広島県は27%で、70%以上が一時停止していないという結果が出ています。

道交法では「前方の横断歩道を横断するか、しようとする歩行者や自転車がいる場合は、一時停止して歩行者の通行を妨げないようにしなければならない」と規定されています。

【資源ごみの持ち去りに罰金】

広島市は、古紙や空き缶などの“資源ごみ”の持ち去り違反者に、10/1から罰金付きの禁止条例を制定しました。

東観音台団地の有価資源についても、持ち去りの抑止効果が期待されます。

★企画・編集：と〜かんサポートクラブ
広報部会

★発行年月日：令和3年5月25日

★発行者：高田 稔（☎922-5844）

★文責：中倉 勇（☎922-4320）

★ホームページ：こむねっとひろしま

